

平成21年度第7回 公民館運営審議会会議要録

日時：平成22年3月9日（火）

午後3時～5時まで

場所：小平市中央公民館 会議室

1. 出席者

公民館運営審議会委員 10名（欠席 3名）

事務局 館長、館長補佐、管理係長、分館主査

2. 傍聴者 0名

3. 配布資料

- ・市民への情報提供を目的とする公民館利用団体一覧の取り扱いについて（答申） 資料①
- ・平成21年度第3回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会報告 資料②
- ・平成21年度小平市公民館定期講座実施状況表 資料③
- ・平成22年度小平市立公民館事業計画（案） 資料④
- ・平成22年度公民館定期講座一覧表（案） 資料⑤
- ・提言集 資料⑥
- ・「都公連セミナーのテーマについて（提案）」 資料⑦

4. 議題等

（1）報告事項

①館長報告

- ・小平市公民館まつりについて

平成22年3月6日（土）・7日（日）に、小平市公民館まつりが開催された旨の報告をした。

- ・平成22年度予算特別委員会について

3月2日より、平成22年度予算特別委員会が開催され、公民館に関連する質問がされた旨とその内容の報告をした。

- ・総務委員会について

市議会常任委員会 総務委員会が3月9日（火）に開催され、平成21年度第4号補正予算案が審議された旨を報告した。

②委員報告

- ・答申について

資料①

中央公民館長より出された諮問（※）に対し、3月7日、答申をした旨の報告をした。

※「市民への情報提供を目的とする公民館利用団体一覧の取り扱いについて」

- ・都公連委員部会研修会について

資料②

2月21日（日）に開催された、第3回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会における、事例発表及び配布資料について報告をした。

③各係からの報告

- ・講座実施状況および公民館まつりについて 資料③
事業係および各分館主査より、募集中の講座の応募状況、各講座の内容や様子について報告した。また、小平市公民館まつりの様子について報告した。
- ・事業計画（案）および公民館定期講座一覧表（案）について 資料④⑤
事業係より、平成**22**年度小平市立公民館事業計画（案）および平成**22**年度公民館定期講座一覧表（案）について報告をした。

《主な質疑》

- | | |
|-----|--|
| 委員 | 家庭教育講座は毎年開講し、自主サークル化する割合が高い。増加するサークル数に、活動するための部屋数は間に合っているのか。 |
| 事務局 | 新たにサークルを立ち上げるのではなく、家庭教育講座から派生した既存サークルに修了者が入会するケースはあるものの、今後取り組むべき課題であると考えている。 |
| 委員 | 上水南公民館のパソコン講座について、受講者定員 40 名を大きく上回る 104 名という応募者数であったが、世代層等に特徴はあったか。 |
| 事務局 | ワードの基本コースは 40 代から、インターネットコースは 60 代から、どちらも女性の参加人数が圧倒的に多かった。これからも受講者の声を聞きつつ、内容を工夫していきたい。 |
| 委員 | 22 年度小平市公民館定期講座一覧（案）について、 21 年度との相違点はどこか。 |
| 事務局 | 22 年度については、サークルの方々と連携し、出前事業を展開させていくことを考えており、また、従来は外部への講師依頼をすることの多かったところを、来年度からは行政職員やボランティア、 NPO 等の活用を考えている。内容的には、小平市の歴史文化に関するものや、父親と子供の交流を促す家庭教育講座、インターネット環境を活かしたパソコン講座なども含め、小平市ならではの、公民館ならではの講座を企画している。 |
| 委員 | 出前事業の一環として、日ごろ公民館に来られない市民へのサービスとして、 IT を使った学習環境を整備すべきではないか。また、家庭教育講座に関しては、最近ニュース等で見られるように育児に関する問題は多い。「父親とこども」をテーマとして取り上げられたことはタイムリーである。「母親とこども」という視点からの更なる展開を期待する。 |

- 委員 仲町公民館の建て替えについて、事業計画案の中では市民の意見を聞きながら進める、とあるが、そのためにどのような方法を考えているか。
- 事務局 市から、ある程度まとめた案を具体的に出し、直接地元の方々の意見を伺う場を設けようと考えている。その他の方法としては、パブリックコメントという形で伺うことも考えている。
- 委員 以前、仲町公民館利用者懇談会から、建て替えについての要望書が提出された経緯もあるので、今まで行なってきた仲町公民館関係者との意見交換も反映させた案を出してほしい。
- 事務局 平成 18 年度の公民館運営審議会から出された『提言Ⅱ』や、翌年、利用者懇談会の中で行われたアンケートも参考にしていきたい。
- 委員 公民館だからこそ、民間とは違う、タイムリーではないテーマも取り上げてほしい。
- 事務局 タイムリーなテーマと不変的なテーマをうまく住み分けつつ、これからの講座を企画していきたいと思う。

(2) その他連絡及び報告事項

- ① 3月 18 日（木）に開催される審査会において、次期公民館運営審議会委員の公募委員が決定される予定である旨の報告をした。

22 年度第 1 回公民館運営審議会は、4月 20 日（火）午後 3 時より、中央公民館会議室にて開催する。